

AIDSネットワーク横浜 ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 AIDSネットワーク横浜
〒231-0015 横浜市中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9 F
TEL：045-201-8808 fax：045-201-8809
ホームページ <http://www.netpro.ne.jp/any/>
e-mail：any@netpro.ne.jp



ANY会員の皆様

第30回定期総会のご報告

2022年5月21日、横浜AIDS市民活動センターに於いて、13：30に開会し、会員17名のうち、出席8名、書面表決4名、理事長への委任2名の計14名の参加をもって成立致しました。

例年通り、理事長の議事進行の下、2021年度事業報告・会計報告、2022年度事業計画・予算案・運営委員案など、提案と若干の質疑の後、各議案すべてが議案通り修正無く承認されました。

2022年度はANY創立30年目の節目となる年です。新会員2名を迎えて、より活動を広げられる年にしたいと決意を新たに致しました。

今後とも会員の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

横浜市認定NPO法人 AIDSネットワーク横浜
理事長 笹田 克子

☆ 会員の皆さまへ 2021 年度 会費納入のお願い・・・同封の振込用紙でお願いします。

払い込み先：ゆうちょ銀行

加入者名：NPO法人AIDSネットワーク横浜

口座記号番号：00230-1-135371

会費：一般会員 6000 円 学生会員：3000 円 賛助会員：5000 円

〈情報〉朝日新聞 2021 年 11 月 8 日記事より**エイズウイルスを完全に排除、サルでの実験で「完治につながる」**

国立研究開発法人「医薬基盤・健康・栄養研究所」の研究班は 8 日、サルを使った**実験**で、治療に用いれば**エイズウイルスを体内から完全に排除できるワクチン技術を開発**したと発表した。エイズウイルスに感染すると薬をのみ続けなければならないが、研究班は「完治につながる大きな一歩」としている。

研究班は免疫反応を強める物質を出す細菌に着目。この細菌の遺伝子を弱毒化したエイズウイルスの遺伝子に組み込み、生ワクチンを作った。カニクイザルに接種したところ、一度はエイズウイルスに感染したが、その後ウイルスは検出されなくなった。

ワクチン接種後は、感染すると 100%死亡する強毒ウイルスに感染しても、7 頭のうち 6 頭でウイルスは検出されなくなったという。さらに、生き残った 6 頭から採った血液とリンパ節細胞を健康なサルに注射したところ、4 頭ではウイルスが検出されなかった。

研究班は今後、投薬治療中のエイズ患者から採ったウイルスから個別にワクチンを作り、治療につなげたいとしている。日本 BCG 研究所と共同で研究に取り組んだ同法人霊長類医科学研究センターの保富康宏センター長は「5 年以内にヒトでの臨床試験を開始したい」と話した。

エイズは 3 大感染症の一つで、世界の感染者は 3770 万人、日本でも 2 万人以上が感染している。抗ウイルス薬によって致死的な感染症ではなくなったが、現在の薬では体内のウイルスを死滅できない。薬の長期服用による副作用や高額な治療費、耐性ウイルスの出現が問題となっている。(姫野直行)

